愛知民報

2017年
12月3日
第2377号

発行所 愛知民報社
〒460-0007　名古屋市中区新栄三丁目12番25号
愛知あかつき会館内
☎(052)251-2925 FAX(052)261-6063
定価 月400円 郵送料164円　1部100円
毎週日曜日発行(第5日曜日は休刊)
1966年7月31日第三種郵便物認可

週刊

愛知民報を
周りの人に

総選挙中におこなわれた市民連合@愛知の「働き方をどう考える」トークライブ。(正面左から)日本共産党の大野宙光衆院比例代表候補、立憲民主党の吉田統彦衆院愛知1区候補らが語り合った＝10月15日、名古屋市中区

第48回総選挙

市民と野党 愛知の共同

リポート

10月の第48回総選挙は、支配層が安倍政権を維持するために〝総がかり〟で野党共闘を分断しようとした選挙でした。日本共産党は身をていして共闘を再構築し、改憲二大政党づくりの謀略を打破しました。石山淳一日本共産党愛知県書記長のリポートを紹介します。

日本共産党愛知県委員会
書記長

石山淳一

改憲謀略打破 一本化へ大決断

2つの目標掲げ

わたしたちは今回の総選挙で、安倍自公政権を打倒するために、2つの目標を掲げてたたかいました。1つは、野党共闘を成功させ勝利をかちとること、2つは、日本共産党自身のさらなる躍進をかちとることです。

日本共産党の議席は改選時の21議席から12議席へと後退する痛恨の結果となりました。

比例東海ブロックも目標の3議席以上を果たせず、現有2議席から1議席へと後退しました。比例票は、前回の全国607万票から440万票に、愛知では30万8千票から21万8千票に後退しました。

みなさんの熱い支援をうけながら、それを結果に結びつけることができなかった原因は、私たちの力不足にあると考えています。

次の国政選挙では捲土(けんど)重来を期す決意です。

勇気もって共闘

日本共産党の議席後退は大変残念な結果でしたが、野党共闘では歴史的な意義をもつ大きな前進をきりひらいた選挙戦になったと確信しています。

民進党が安保法制容認・改憲推進の希望の党に合流するという野党共闘分断の逆流が、衆議院解散が決まった直後に突如おこりました。わたしたちは、民進党が自民党の補完勢力の「希望」に合流することは野党共闘を裏切る背信行為だと厳しく批判しました。

同時に、「希望」に合流しない人々や勢力とは勇気をもってしっかり共闘をすすめる決意を表明しました。

愛知では、1区、3区、5区で日本共産党、立憲民主党、社民党の野党3党と市民連合、市民と野党をつなぐ会あるいは市民アクションが政策協定を結び、協力・連携して選挙をたたかいました。

2面に続く

逆流止め共闘再構築の歴史的意義

志位さん強調

日本共産党の志位和夫委員長(写真)は18日、刈谷市内でおこなわれた平和・民主・革新の日本をめざす全国の会(全国革新懇)の全国交流会で総選挙について、分断と逆流を止め、野党共闘を再構築した歴史的意義を語りました。

志位氏は、希望の党への民進党の突然の合流という市民と野党の共闘の分断にたいして日本共産党がとった、①希望の党が安保法制と9条改憲を容認する自民党の補完勢力であることを指摘し、民進党候補が希望の党の公認を受けた場合、原則として候補者を擁立する②共闘の道をしっかり追求しようという政党・議員・候補者とは連携・協力するという対応を報告。緊急事態のなかで全国67の小選挙区で日本共産党の候補者を降ろし、野党候補を一本化する決断をしたと述べました。

そのうえで、「いったん始めた道ですからとことんやり抜き、安倍政権を倒し、野党連合政権をつくる日までがんばりぬきます」と決意を表明しました。